

地域活動充実支援事業

(手柄地区)

No. 16 2021.8

手柄地区において、行政と地域がともに考え行動していく地域活動充実支援事業についてお知らせします。

第17回「もっとよく知ろう手柄」ミーティング

会議概要

日時	場所
令和3年8月29日(日) 13:30~15:00	姫路市総合福祉会館 第1会議室

出席者(順不同)	自治会長や地域活動団体関係者等約50名、姫路市5名
----------	---------------------------

議題
<ul style="list-style-type: none"> ・「桂米朝さん」について 講師：落語研究家・元西延末自治会長 小澤 紘司 氏 企画：手柄地区を楽しむグループ

議事内容／結果

<p>1 開会 高澤手柄地区連合自治会長 挨拶</p> <p>・今日は暑気払いも兼ね、楽しい講座を企画した。「もっとよく知ろう手柄」ミーティングも17回目となったが、初めて参加された方もいらっしゃるので改めて説明すると、手柄地区は、地域活動充実支援事業を行う市内3地区のうちの1つとして、市の支援を受けながら、地域の皆さんが集まって地域が良くなるよう活動に取り組んでいる。具体的には「手柄校区の歴史・文化」「手柄の安全安心」「手柄の福祉」「手柄地域交流」そして本日の内容を企画した「手柄地区を楽しむ」の計5つの活動グループがそれぞれ主となり、毎月最終の日曜日に本会を開いている。将来的には、住民の皆さんから、こんなテーマが必要では？という提案があれば、本会で取り上げていきたい。本会の案内は全戸配付の「手柄公民館だより」に掲載しており、関心のある方は誰でも参加できる。もっと手柄を知っていただくためにも、今日お越しの方々には身近な方に参加を促していただき、活動に参加していただければ。また、今日は同じく地域活動充実支援事業に取り組んでいる高浜地区の連合自治会長も来られている。連携しながら活動していきたい。</p>
<p>2 講話「『桂米朝さん』について」</p> <p>午前中、名古屋山にある米朝さんのお墓を参って、今日の講話のことを報告してきた。米朝さんについては、まずDVDをご覧ください共有したい。ちなみに本DVDは山陽中にも寄贈している。</p> <p style="text-align: center;">～DVD上映～ 「京の茶漬け」を視聴</p> <p>長くても短くても味のある話ができる師匠だったが、単なる落語家ではなく、自分のやるべきことを定め、いつまでにやると決めてきっちりやりきれの方だった。本名は中川 清、大正14年に關東州普蘭店で生まれ、その後、実家のある姫路市に帰郷。旧制姫路中学を卒業し、進学のため上</p>

京。太平洋戦争末期に召集されたが病気で陸軍病院に入院し、退院後まもなく終戦を迎えた。昭和22年に四代目桂米團治に入門し、衰退期だった上方落語の復活に功績をあげられ、弟子の育成にも力を注がれた。昭和62年に紫綬褒章、平成8年に重要無形文化財保持者（人間国宝）、そして平成21年に落語家として初めて文化勲章を受賞。平成27年3月19日に89歳で他界した。

私は大学の古典芸能研究部に所属していた時に米朝さんと出会った。手紙で質問を送ると、見ず知らずの学生の私にも必ずきっちりとした返事をくれた。文通の後、対面する機会を得て、それから50年の付き合いとなった。今は米朝さんの自宅にある蔵書、和綴じ本、大阪ことばや郷土文化資料、自筆の原稿とその掲載本、新作落語の原稿、先輩師匠からの聞き書き、能・狂言・歌舞伎・文楽の資料、俳句ノート、手紙など約4万点の整理を続けている。

自宅には高橋秀吉コレクションで有名な昔の姫路の写真もたくさんあったので紹介したい。

（手柄山から国鉄姫路駅へ向かうモノレール開通第1号車、豆腐町踏切の北を通るモノレール、建設中の文化センター、新幹線開通第1日目の姫路駅ホーム、飾磨浜の宮に建立された碑など）

3 参加者から

松本剛明議員：日本人、国にとって、教育や文化は大切だと思っている。数年前からは「落語を楽しむ、学ぶ国会議員の会」の世話役も務め、文化を継承しようという意欲のある方の応援をしようと活動している。今日は姫路出身の桂米朝さんに関しての知識を共有する貴重な機会に恵まれた。コロナ渦で活動が大変困難な中、十分な対策を取った上で前に進まれていることに敬意を表したい。私も手柄の住民として応援していきたい。

清元市長：市役所は手柄校区にあるので、私ももっと手柄をよく知ろうということで参加させていただいた。市長としてもっと姫路のことを知っていかなければならないと思っている。昨年末、テレビ番組で落語の特集があり、米朝さんの門下生が集まっていろいろな話をされていたが、人情味のある温かい語り口、伝統文化を継承していこうとする姿が印象的だった。人を非難することが目立つコロナの時代において、米朝落語を聞いて人間が持っている温かい心を思い出してほしいと思う。桂米朝さんは姫路市の名誉市民であり、私ももっと深く知りたいし、市民の皆さんにももっと知ってもらいたいと思っている。

次回 令和3年10月31日（日） 13時30分から 姫路市総合福祉会館

内容：「11月28日実施予定の手柄校区防災・避難訓練について」

説明：姫路市危機管理室、姫路西消防署、手柄自主防災会

当日の様子

